第１回総務経済常任委員会・厚生文教常任委員会
合同委員会会議記録

開閉会日時	令和４年６月２２日（水曜）　午前１０時３０分　開会		
	休憩　10:35-36　10:39-40　10:45-46　10:48-49　11:19-21　11:26-29　11:37-38		
	午前１１時４０分　閉会		
	休憩時間：　０時間１０分	会議時間：１時間００分	
会議場所	役場３階　本会議場		
出席委員氏名	委員長　鈴木　健充	委　員　渡辺洋一郎	委　員　柴田　正博
	副委員長　中田智惠子	委　員　黒田　栄継	委　員　西尾　一則
	委　員　梶澤　幸治	委　員　橋本　和仁	委　員　常通　直人
	委　員　立川　美穂	委　員　堀切　　忠	
	委　員　中村　和宏	委　員　正村紀美子	
	委　員　寺町　平一	委　員　広瀬　重雄	議　長　早苗　　豊

説明員	政策推進課長	石田　　哲	農林課長	我妻　修一
	政策調整係長	村上　佳子	商工労政課長	仲野　裕司
	政策調整係	佐藤　拳伍	商工労政課長補佐	中村　宗紀
	総務課長	佐々木快治	工業労政係長	安田　久美
	総務課参事	松久　哲也	環境土木課長	橋本　直樹
	総務課長補佐	中島　広貴	環境土木課長補佐	菊地　徳之
	魅力創造課長	西田　昌樹	環境土木課長補佐	齋藤　和也
	魅力創造課参事	小林　徳昭	水道課長	髙橋　　力
	都市経営課長	佐藤　季之	水道工務係長	玉村　大輔
	都市経営係長	齋藤　　錦	公立芽室病院事務長	西科　　純
	建築住宅係長	杉山真理子	公立芽室病院事務長補佐	江崎　健一
	住民税務課長	菅原　庸晴	教育推進課長	有澤　勝昭
	健康福祉課長	大野　邦彦	生涯学習課長	日下　勝祐
	高齢者支援課長	坂口　勝己	農業委員会事務局長	藤野　元成
	子育て支援課長	佐々木雅之	農業委員会事務局長補佐	土田　雅敏
	発達支援センター長	有本　和晃		
	保育所長	河原崎由香里		
	子育て支援センター長	阿部弘美		
	児童係長	山田　陽子		

参考人			
欠席委員氏名			
事務局職員	事務局長　安田　敦史	総務係長　佐藤　史彦	総務係主査　上田瑞紀

１　開　会

鈴木委員長が開会を告げ、事務局から委員会の日程について説明をする。

委員長から本日の委員会の趣旨説明を行い議件に入る。

２　議　件

（１）調査事項

ア　第５期芽室町総合計画後期実施計画（案）について　　資料１

・委員長：担当課から説明を求める。

・政策推進課長：資料の説明は担当係長からとする。

・政策調整係長：資料１説明＜策定スケジュール案（別紙１）、基本構想の追加・変更（別紙２）、後期実施計画案（別紙３）、各施策とSDG’sの対応表案（別紙４）＞

・委員長：別紙１「策定スケジュール」について意見・質疑はないか？

・（なし）

・委員長：別紙１の調査を終了する。

・委員長：次に、別紙３「後期実施計画案」について「基本目標」ごと「施策単位」で質疑を行う。調査は「基本目標５」から降順に行い、別紙４「施策 SDG’s 対応表」を含めて行う。なお、「基本目標５」については、「別紙２」の「基本構想案」も関連することから、併せて意見・質疑はないか？

「５：住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり」

「5-1-1 徹底した情報共有と町民参加の促進」

「5-1-2 住民自治の実現と地域の活力の維持」

「5-2-1 効果的・効率的な行政運営」

「5-2-2 健全な財政運営」

「5-2-3 親切・便利な行政サービスの推進」

「5-3-1 シティプロモーションの推進」

「5-3-2 国際・地域間交流の推進」

・（意見・質疑なし）

・委員長：「基本目標５」の調査を終了する。

・委員長：次に「４：自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり」について、意見・質疑はないか？

「4-1-1 災害に強いまちづくりの推進」

「4-1-2 消防・救急の充実」

「4-1-3 暮らしの安全・安心の確保」

「4-2-1 有効な土地利用の推進」

「4-2-2 快適な住環境の整備」

「4-2-3 道路交通環境の整備」

「4-3-1 景観保全と再生エネルギーの推進」

「4-3-2 廃棄物の抑制と適正な処理」
「4-3-3 上下水道の整備」
・（意見・質疑なし）
・委員長：「基本目標４」の調査を終了する。

・委員長：次に「３：誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり」について、意見・質疑はないか？
「3-1-1 生涯を通じた健康づくり」
「3-1-2 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展」
「3-2-1 安心して生み育てることができる子育て支援」
「3-2-2 子育て環境の充実」
「3-3-1 地域で支え合う福祉社会の実現」
「3-3-2 高齢者福祉の充実」
「3-3-3 障がい者の自立支援と社会参加の促進」
「3-4-1 互いに認め合う地域社会の形成」
・（意見・質疑なし）
・委員長：「基本目標３」の調査を終了する。

・委員長：次に「２：心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり」について、意見・質疑はないか？
「2-1-1 学校教育の充実」
「2-1-2 社会教育の推進」
「2-2-1 地域文化の振興」
「2-2-2 スポーツしやすい環境づくり」
・（意見・質疑なし）
・委員長：「基本目標２」の調査を終了する。

・委員長：最後に「１：農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり」について、意見・質疑はないか？
「1-1-1 担い手育成と農業の応援団づくり」

「1-1-2 農業生産性の向上と経営基盤支援」
・梶澤委員：「１：現状と課題」に記載の「国の『みどりの食料システム戦略』と歩調を合わせた取組（以下「戦略」という。）」とは具体的に何を指すのか？
・農林課長：JA と協議を進めながら、具体的な内容は定めていきたい。
・梶澤委員：戦略は、全国一律に適用させるものではなく、地域ごと適否の見極めを要する。今後４年間の取組姿勢は？
・農林課長：十勝及び芽室に相応しい内容について、戦略を精査し取り組んでいきたい。

・梶澤委員：「３：施策の主な内容」について、「農業分野におけるデジタル化の推進」とは具体的に？
・農林課長：DX の推進の一環として、農村部の光回線活用による営農分野への採用、そのほか各種申請手続きへの拡大等、JA と連携しながら具体的な推進に向けて取り組んでいきたい。
・梶澤委員：メリットは？
・農林課長；農業分野への採用分野を精査し取組み、農業者不足の改善に活用できないかなど検討していきたい。
・梶澤委員：労働力確保等農作業の省力化は有効な活用方法である。圃場におけるデジタル化についてはいかがか？
・農林課長：圃場におけるデジタル化については、まだ踏み込めていないが、今後の検討事項としていきたい。
・梶澤委員：後期計画に記載するにあたり、４年間の検討目標の精度は？
・農林課長：後期の４年間ですべて完結は不可能であるが、可能な範囲で具体的に取組んでいきたい。
・広瀬委員：「ロシア・ウクライナ問題」に影響を受ける飼料・肥料の高騰に係る取組は？また、今後の４年に向けて、町として強化すべき「経営基盤の支援」の議論経過は？
・農林課長：資材・飼料等の高騰は、町も当然承知している事項である。現時点で総合計画に記載はないが、長期視点を持ちながら関係機関と協議し、記載についても今後検討していきたい。
・梶澤委員：情勢が１年ごとに大きく変わるような国際情勢を鑑みた時に、総合計画のみならず、一昨年策定した芽室町農業振興計画の改定も視野に入れているのか？
・農林課長：ロシア・ウクライナ問題については、災害同様の事態と受け止めつつ、各種計画の見直しに反映すべきか否かを関係機関と共に検討していきたい。
・広瀬委員：ロシア・ウクライナ問題は、農業政策の転換と捉えて国全体で見直していくべき事象である。芽室町としての取組みも高騰対策という切り口のみならず、総合計画に何らかの意思を表現しておくべきではないか？
・農林課長：個々の市町村のみで解決できる課題ではないが、芽室町としてできることについては、この機に十分協議を重ねていくことが必要と考えている。

「1-1-3 農地・土地改良施設等の整備と充実」
「1-1-4 地域林業の推進」
「1-2-1 地域内経済循環の推進と商工業の振興」

「1-2-2 地域資源を活用した観光の振興」
・渡辺委員：「１：現状と課題」に記載の「日高山脈襟裳国定公園」について、観光振興の視点はもとより、環境保全の観点が大前提と考える。このふたつの視点の連携は？
・政策推進課長：観光分野と環境保全を総合計画の体系上、２分野に分けて記載してい

る。環境保全分野については担当課（環境土木課）からお答えする。
・環境土木課長補佐：自然環境保護の観点を前提として、町としても取り組んでいきたい。
・渡辺委員：総合計画の体裁として、「国定公園」の資源活用としては、環境保全と観光振興を別々の記載ではなく、町としての姿勢を明確に表現されるべきと考えるがいかがか？
・政策推進課長：魅力創造課、政策推進課、環境土木課で連携を図りながら、記載方法を検討したい。
・梶澤委員：今後の４年に向けて、様々な観光振興メニューを網羅する「観光振興計画」策定の考えはないか？
・魅力創造課長：総合的な計画策定の考えはないが、観光振興に関する新たな動きが少しずつ具現化しているので、戦略的に展開していきたい。
・梶澤委員：新たな動きが具体的に伝わってこないのが本音である。担当課がそれぞれ独自に動いている感がある。そのため、総合的な計画策定が有効と考えるがいかがか？
・魅力創造課長：検討していきたい。
・常通委員：前期計画にあった「DMO」はどこに？
・魅力創造課長：前期計画の展望計画が、後期計画に溶け込ませている。
・常通委員：文字はないが、意思は含まれているという意味か？
・魅力創造課長：お見込みのとおりである。
・常通委員：「別紙４」の SDG's は各施策に記載されるのか？
・政策推進課長：別紙として添付したい。マークを施策ページの最後に記載するなど検討している。
・正村委員：実施計画の前提となる財政は担保できる見込みか？
・政策推進課長：「5-2-2 健全な財政運営（資料 64 ページ）」に記載のとおり、中期財政計画を前提として、各事業の取組に努めていきたい。
・委員長：「基本目標１」の調査を終了し、以上で別紙３の調査を終了する。

・委員長：自由討議を行う。以上で調査が終了した。本日、町からは、８月までの合同委員会の説明と９月議会への提案予定が示された。自由討議はないか？
・（なし）
・委員長：町のスケジュールに基づき調査を進めることとし、自由討議を終了する。

３　その他
（１）次回委員会の開催日時について
・委員長：両常任委員長協議とする。
（２）その他
・委員長：各委員からないか？
・（なし）

・委員長：議長からないか？
・（なし）
・委員長：事務局からないか？
・（なし）

以上をもって、合同委員会を終了する。

傍 聴 者 数	一般者	０名	報道関係者	１名	議　員	０名	合計	１名

令和４年６月２２日

総務経済常任委員会委員長　鈴　木　健　充